

お悩みスッキリ
できたかな～？
☆フヒ☆フヒ☆



ご報告!

第2回カリヨンタイム おこづかいシュミレーションゲーム

12月8日(土) 金銭教育指導者団体「マネーじゅく」
代表の陣内恭子先生をお迎えして「おやこで金銭教育～
おこづかいシュミレーションゲーム～」を開催しました。

金銭教育指導者団体 マネーじゅく
<http://www.moneyjuku.jp/>

興味のある方はのぞいてみてね!

参加者総勢
70人!

初めての試みで **ちょっとドキドキ**
キョウミしんしんの様子を
お伝えしま～す!



子供たちは4～5人づつ10のチームに分かれて、大人は見守りです。
(これが難しい…。ついつい口が出ます)
まず、欲しい物をこづかい帳に書きます。
↳ すぐに書ける子と、すぐこ～く悩む子…
いろいろな子がいました。

そして、全員500円のおこづかいをもらってスタート!

サイコロを振り、出た目のカードを受け取り、その指示を守りながら進みます。
カードの指示の中には、必要な消費(欲しくなくても買う)、欲しい物の消費(考えて決める)、ラッキー(収入)、アクシデント(損失)があり、
そのとおりに手持ちのお金を出し入れしながら、こづかい帳にも記入します。

チーム内一巡が月額制こづかいの場合の1ヶ月。2回目の順番が回ってきたら2ヶ月目!さあ、何ヶ月(何巡目)で欲しい物をGetするのでしょうか?

……というのがゲームの流れです

買うのカードで欲しくないものを買うことになった子は「いやじゃ～!」「いらん～!」の声。欲しい物が買えた子は「これがホンマじゃったらえ～のに～!」とか。

また、少しでもお金がたまったら、すぐ買う子や、貯めて貯めて大物をド～ン!と買う子など、性格もいろいろでした。

ちょっとビックリは、おこづかいをもらっている子どもが参加者の3分の2だったこと。多い?少ない?お手伝い賃としてもらう、など各家庭ならではのルールがありました。最後に修了証とおこづかい帳をいただいて帰りました。お疲れ様でした!



こづかい帳をつけて親子で振り返ることが一番大事なんだフヒ～☆

参加した人の感想

～アンケートより～

- ☆ お母さんの財布からではなく、子どもの財布から出すことの大切さ。
- ☆ 子どもの気持ちも考えて、親の指示やアドバイスばかりではなく、上から言う目線で言ってしまうなど感じました。
- ☆ あいさつ、(おこづかいを)両手で(もらう)など大切なことだと思った。↳ **お金の扱い方**
- ☆ おじいちゃん、おばあちゃんからいただくお金は永遠(に続くもの)ではない(命には限りがある)ということを伝えたい。
- ☆ 金銭感覚の点だけでなく、コミュニケーションの問題にも言及されている点と、物やお金を大切に扱うことを指示されている点がよかった。
- ☆ ありがとうございます。こづかいください。などのしつけが上手く教えられた。
- ☆ 子どもの意思で決めていくことで、身につくのだと感じた。
- ☆ 自分の子どもに合ったおこづかいの額を決める。その家庭の価値観で決めればよい。
- ☆ まず、お金に対しての子ども性格を知ること。
- ☆ 話がとても身近で充実した時間でした。
- ☆ 「子どもを信じて」ということ頑張ってみたいです。
- ☆ 「家庭のルールを作る」ということ、その子に合わせたやり方を考えて実践する。
- ☆ お金の基本は家庭から!の一言はずっしり&頑張ろうの気持ちになりました。
- ☆ ゲームを通してお金の使い方を理解できてよかった。親も楽しめました。
- ☆ 使った後の「振り返り」が一番大切なんです。↳ **こづかい帳をつけること**
- ☆ 親子で遊びながら勉強できる面白い企画でした。